

令和6年11月1日

第103回安来市議会定例会 開会会議

市長所信表明

安来市

第103回安来市議会定例会の開会に当たり、今後4年間の市政運営に対する基本的な考え方について、述べさせていただきます。

市長として2期目のスタートに際し、改めて、その責任の重さを痛感しているところであります。

振り返れば、この1期4年間は、人を大切にし、トップセールスによる安来の魅力発信にも務めながら、「過去に学び」、「現状を捉え」、「未来につなげる」を信条に、次の世代につなげるまちづくりに向けて、財政健全化や小中学校適正配置などの諸課題に正面から向き合いました。

どれも難しい課題ではありますが、市民や議員の皆様方、そして職員とともに「オールやすぎ」で取り組むことで、様々な芽が出始めたところであります。

改めまして、議員、市民の皆様方のご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。

出始めた芽を形にする、これからの4年間の取組が安来市の将来を大きく左右します。より一層の強い責任感、使命感をもって、各種施策、事業を進めてまいります。

明るい未来を描き、次の世代につなげる安来市を創るため、「人口減少対策」、「まちづくり」、「行財政改革」の3つの柱を力強く推進してまいります。

「人口減少対策」については、「教育・子育て支援の充実」、「雇用の場の創出による若者の定住促進」、「安心・安全に暮らせる医療、介護、

福祉の充実」を3つの視点から取り組みます。

人口減少のスピードを抑えつつ、住民の皆様が安心して便利で豊かな暮らしが営めるよう、デジタルの力も活用しながら、取組を進めてまいります。

「まちづくり」については、これからの安来のまちづくりにおいて、重要な転機となる、スマートインターチェンジや切川バイパスの整備に合わせた、新しいまちづくりを着実に進めてまいります。

本市の経済活動基盤を押し上げ、商工業、農業、観光業など、安来の産業発展に尽力してまいりたいと考えております。

「行財政改革」については、将来に禍根を残さないような財政運営を行うため、引き続き、公共施設マネジメントを推進するなど、行政の効率化を図りながら、財政の健全化に向けた取組を進めてまいります。

誰もが幸せを感じ、夢を持ち、安心・安全な暮らしができ、そして、若者に選んでもらえる、そんな安来市にしたいと考えております。

引き続き、市民の皆様の負託に応え、行政のトップとして、スピード感を持って決断、実行し、全身全霊で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。